

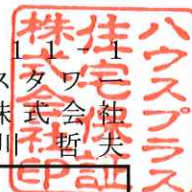


受付日：令和7年5月29日
受付番号：HP25-KT066

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。

東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタワー
ハウスプラス住宅保証株式会社
代表取締役社長 鈴川 哲夫



令和7年7月9日

1. 名称	オメガ短冊スリム10								
2. 試験依頼者	株式会社タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1								
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。								
4. 試験内容	横架材端部接合部(継手型)の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和6年12月1日制定)」による。								
5. 試験体仕様	1) 接合金物 「オメガ短冊スリム10」4枚 材質：ZAM(MSM-CK590)*1*2 寸法：(外形)50mm×250mm 板厚t=0.6mm 接合具用孔 10-φ5.9mm 表面处理：MSM-CK-DZCS 120*3 2) 接合具 横架材(上)側：「木ねじ TBA-45」5本×4箇所 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15~0.23%,Mn;0.60~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：頭部径φ9.3mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.8mm ねじピッチ3.18mm 首下L=43mm 表面处理：エコート*4WH処理 横架材(下)側：「木ねじ TBA-45」5本×4箇所 材質：以下の化学成分を満足する炭素鋼 C;0.15~0.23%,Mn;0.60~1.00%,P;0.030%以下,S;0.050%以下 寸法：頭部径φ9.3mm ねじ山径φ5.3mm ねじ谷径φ3.8mm ねじピッチ3.18mm 首下L=43mm 表面处理：エコート*4WH処理 3) 軸組材料 <table><tr><td>横架材(上)：105mm×105mm×500mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：7.0~9.5%</td><td>全乾密度：0.40~0.43g/cm³</td></tr><tr><td>横架材(下)：105mm×105mm×500mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率：6.5~10.0%</td><td>全乾密度：0.40~0.44g/cm³</td></tr></table> *1 ZAMは、日本製鉄(株)の登録商標 *2 降伏点560N/mm²以上、引張強さ590N/mm²以上の鋼材 *3 日本製鉄(株)の定める規格 *4 エコートは、NOFメタルコーティングス(株)の登録商標	横架材(上)：105mm×105mm×500mm	スギ 無等級材	含水率：7.0~9.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm ³	横架材(下)：105mm×105mm×500mm	スギ 無等級材	含水率：6.5~10.0%	全乾密度：0.40~0.44g/cm ³
横架材(上)：105mm×105mm×500mm	スギ 無等級材								
含水率：7.0~9.5%	全乾密度：0.40~0.43g/cm ³								
横架材(下)：105mm×105mm×500mm	スギ 無等級材								
含水率：6.5~10.0%	全乾密度：0.40~0.44g/cm ³								
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様とし、横架材相互を当該接合金物4枚により接合した。 なお、接合金物は「2枚並列使い」で両側面に配置した。								
7. 試験結果	短期基準接合耐力 30.1 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)								
8. 試験場所	ハウスプラス住宅保証株式会社 横浜第二試験所：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番								
9. 試験実施日	令和7年6月26日								
10. 試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 審査部 評定室 坂根 義夫 千葉 博 石田 恵菜								

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。